

1 はじめに

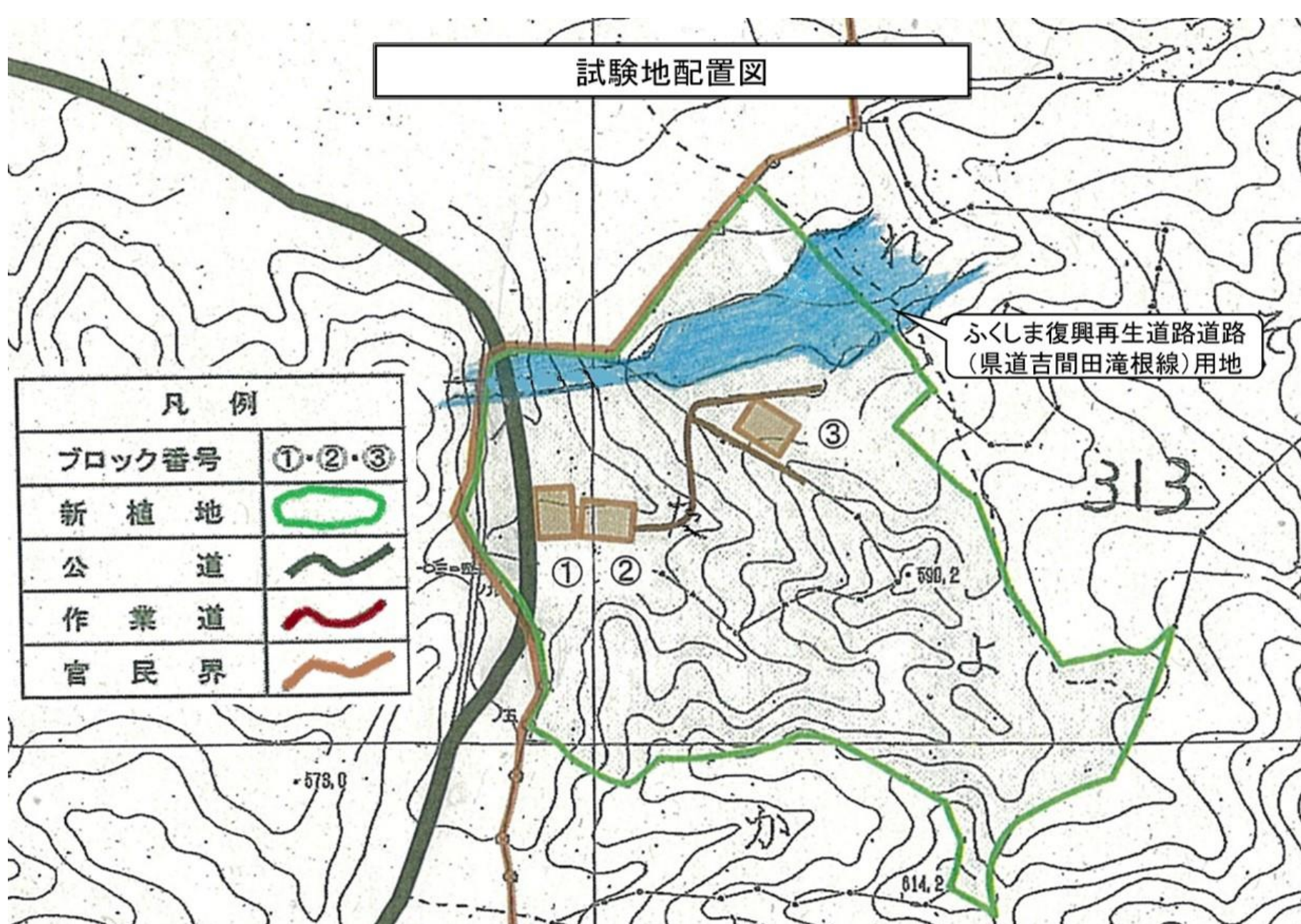
エリートツリーとは、各地の山で選抜された精英樹（第1世代）の中の、特に優れた精英樹を交配した個体の中から選ばれた、第2世代以降の精英樹の総称であり、特に初期成長の早さが特徴。

福島森林管理署は、森林総合研究所林木育種センター及び福島県林業研究センター、福島県農林種苗農業協同組合と共同で福島県田村市の矢大神国有林313林班内にエリートツリー試験地を設定。

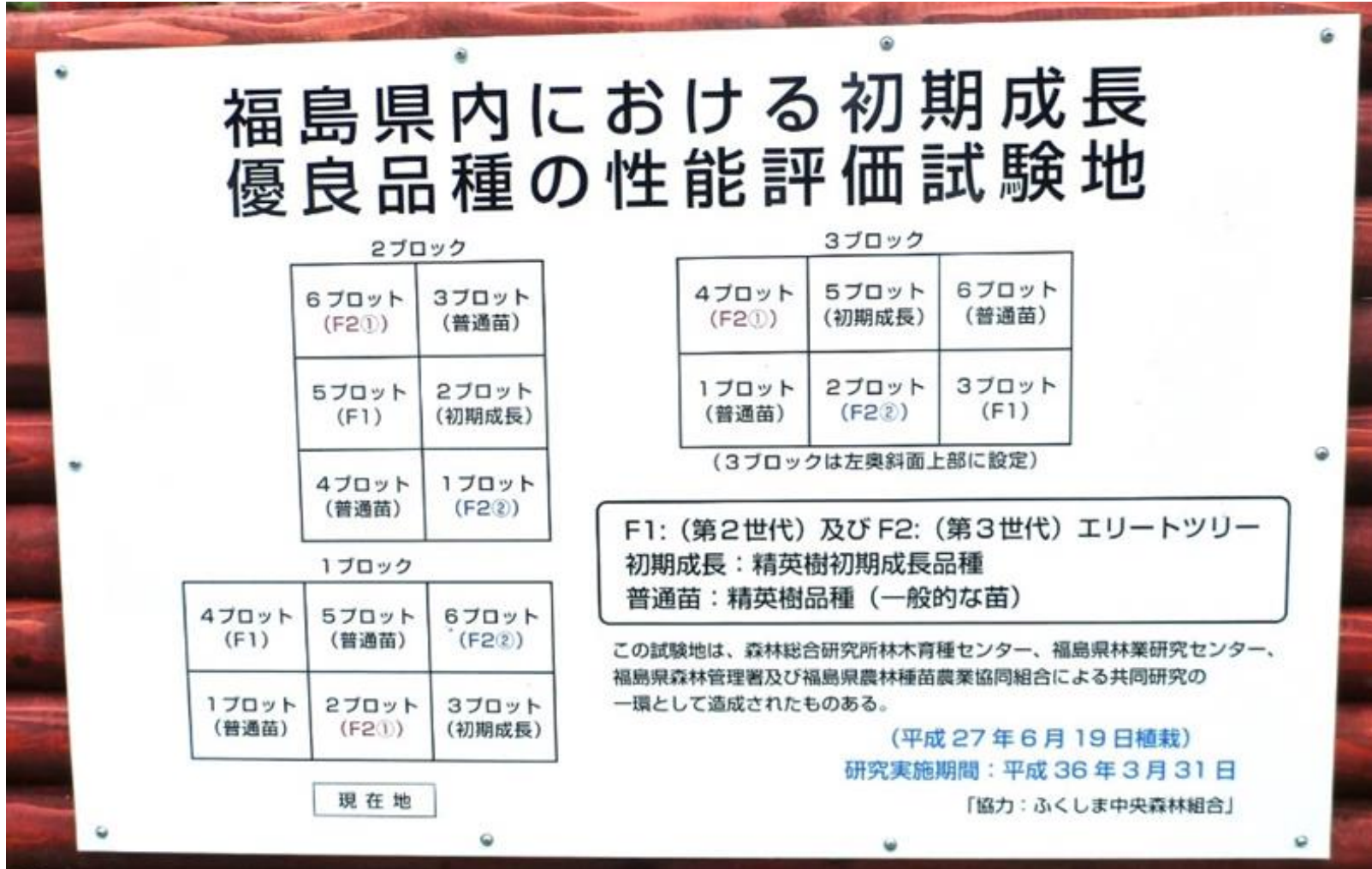
2 エリートツリー試験地のあらまし

本試験地は3つのブロックからなり、各ブロックに12.6m四方のプロットを6カ所設け4種類の実生苗を各プロット49本ずつ植栽（3000本/ha、平成27年6月19日）。植栽時の苗木のサイズは、平均苗高61cm、平均根元径5.3mm。2024年3月31日まで、下刈りを一切行わずに成長の経過を調査していくこととなった

- （内訳）
- 第1世代精英樹の交配苗（F1苗）
：49本×1プロット×3ブロック＝147本
 - 第1世代精英樹（初期成長優）の苗（S苗）
：49本×1プロット×3ブロック＝147本
 - 第2世代精英樹の交配苗（F2苗）**エリートツリー**
：49本×2プロット×3ブロック＝294本
 - 第1世代普通苗 ※対照区
：49本×2プロット×3ブロック＝294本



エリートツリー試験地位置図



プロット配置図



植栽した苗木



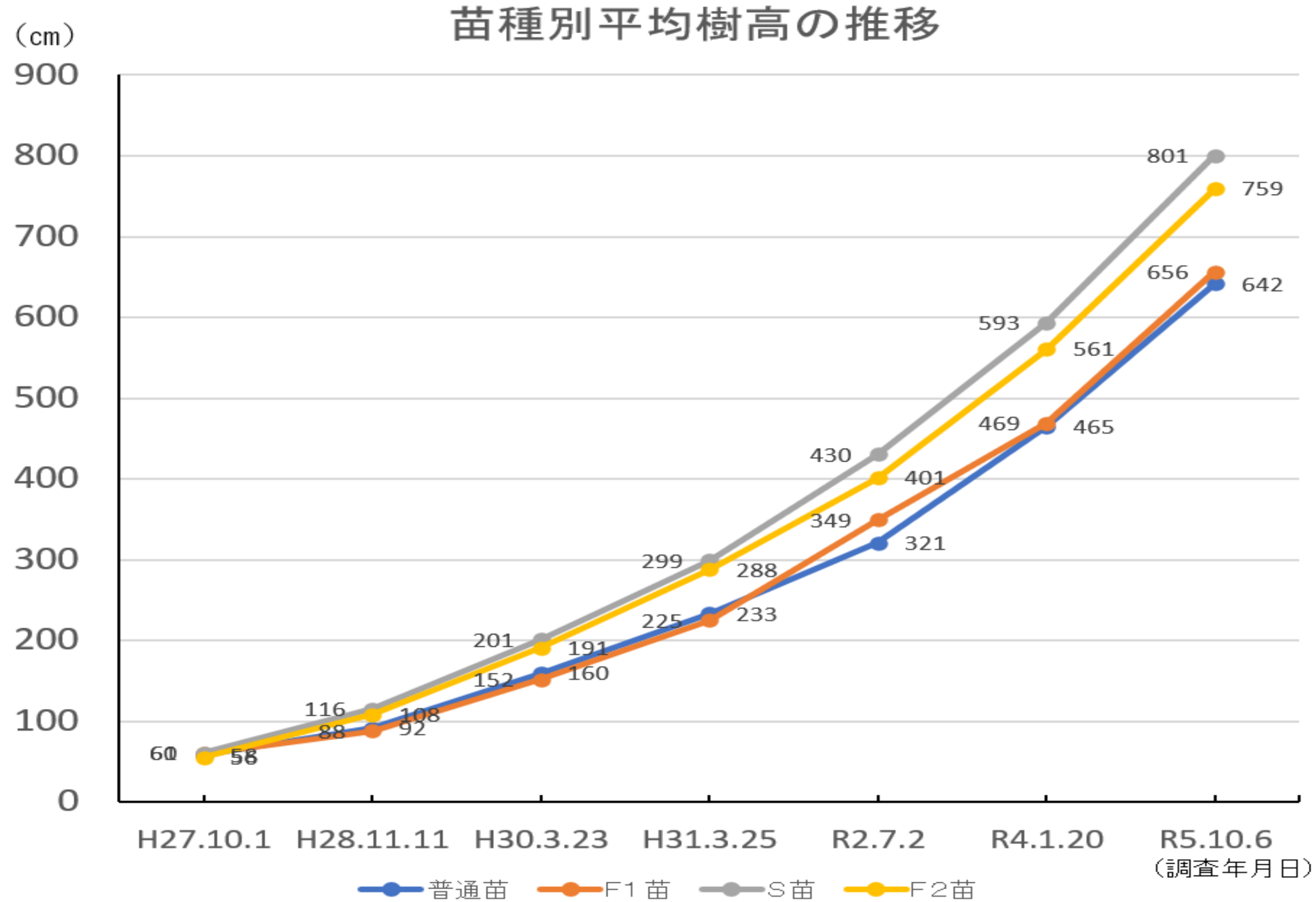
植栽当時の試験地（1・2ブロック）

3 試験地の現在

（1）令和5年10月に行った調査の結果、平均樹高はS苗が801cm、F2苗が759cm、F1苗が656cm、普通苗が642cm。また、平成30年3月の調査結果によると、平均樹高はS苗が201cm、F2苗が191cm、F1苗が152cm、普通苗が160cmであることから、平成29年の夏頃には、F2苗とS苗は下刈りが不要な苗高まで成長したようである。



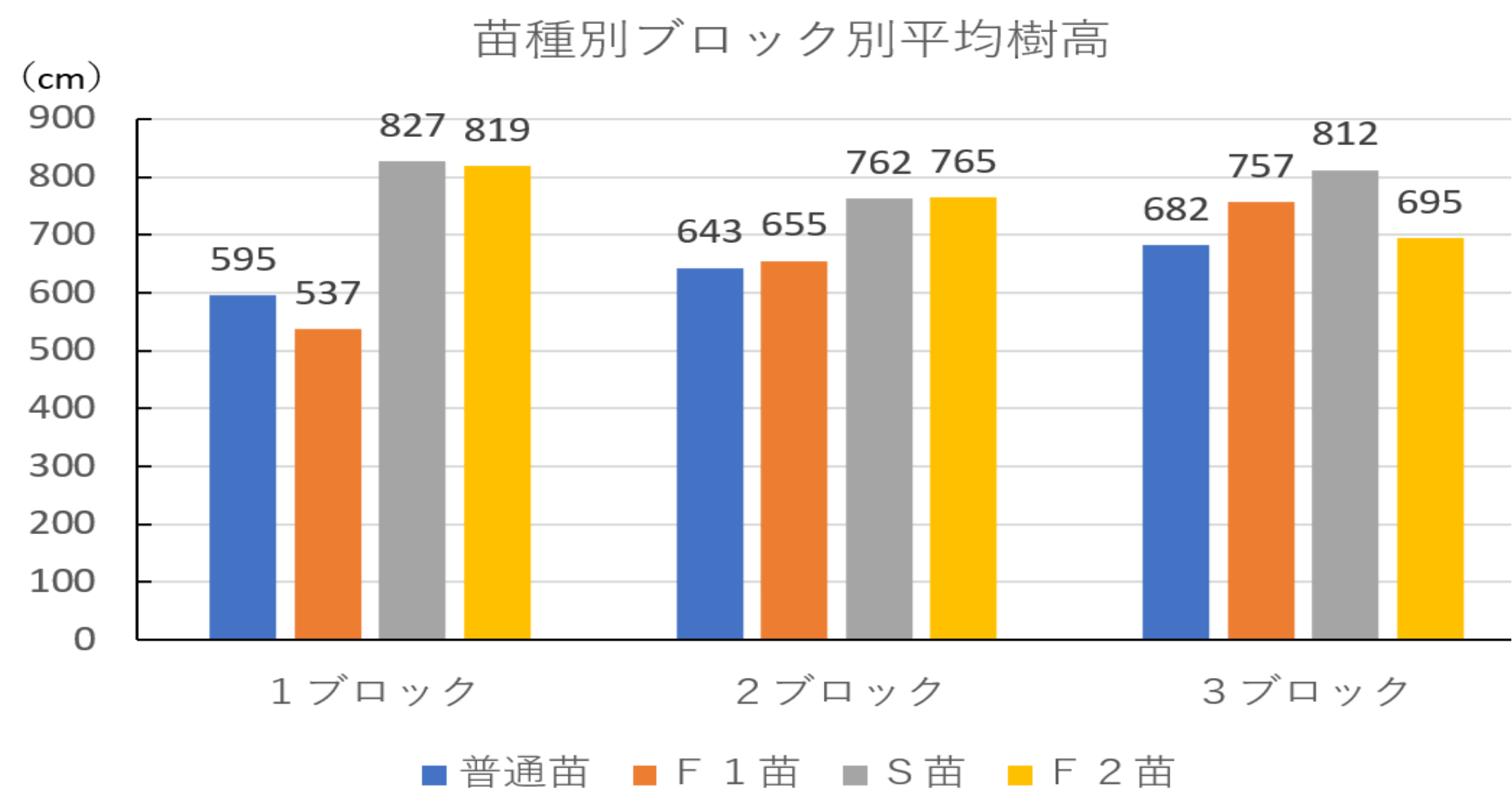
令和5年4月5日のF2苗



試験地空撮（令和4年4月21日、1・2ブロック）

（2）各ブロック毎の平均樹高は、1ブロックは普通苗が595cm、F1苗が537cm、S苗が827cm、F2苗が819cm。2ブロックは普通苗が643cm、F1苗が655cm、S苗が762cm、F2苗が765cm。3ブロックは普通苗が682cm、F1苗が757cm、S苗が812cm、F2苗が695cmであり、1及び2ブロックはS苗とF2苗の成長が良く、3ブロックではF1苗とS苗の成長が良かった。

1及び2ブロックは斜面上部の道路に面した凹地形、3ブロックは斜面上部のなだらかな台地状の地形となっており、林床に花崗岩由来の真砂土が露出する箇所があるなど、同一ブロック内でも生育条件に差異があるように思われることから、その影響も加味して評価する必要があるだろう。



4 余談

エリートツリーの導入により下刈り等の負担軽減が期待できるなら、この手軽に見学できる試験地をもっとPRに活用すべきである。しかし「原則下刈り一切なし」で保育してきた試験地周辺は、クズ等のツル植物が繁茂し、道路沿いはヤブと化していた。このままでは逆効果ではないか。

そこで、若手職員を中心に署内に有志を募り、令和5年5月15日（参加者17人）と10月11日（参加者15人）、令和6年7月17日（参加者16人）の3回、刃物のOJTを兼ねて刈り払いとツル切りを実施。



集合写真（令和6年7月17日）



作業の様子（令和6年7月17日）



作業の様子（令和5年10月11日）



作業の様子（令和5年5月15日）



試験地隣接箇所のヤブ化状況（令和5年9月21日）